

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 7月 19日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス はなうーる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4		・ピアノやそろばん時にカーテン等はできているが、落ち着ける場所までにはいたっていない。	・子どもたちの特性に合わせたスペースの確保と配慮を行う。
	2	職員の配置数は適切である	6	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	2	・業務終了時に残った職員のみで実施。	・全職員で共有できるよう改善する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2			・今回が初めてのアンケート実施だった為、今後活用していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3			・今回初めての自己評価だった為、今回からホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	3		・外部評価は行っておらず、利用者と職員の評価となっている。今後外部評価の機会を設ける必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1			・外部研修や講師を迎えて独自の研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			・送迎時以外にも面談日を設ける必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		・「新サポートノートえいぶる」を活用したツールを使うようにした。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		※記入無し1	・ミーティング等で子供たちの様子を話し合い、支援の仕方や活動について共通認識を持って取り組むようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・季節に合わせた活動や曜日によりプログラムを工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3			・個々の課題設定も含めて、よりきめ細やかな課題を設定していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2			・個別活動をより充実させ、計画的に進めていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	4			・職員ミーティングを行い、児童の様子や支援の流れ、支援方法を確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		・支援終了後に振り返りを行っている。	・全職員で共有できるようにする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1			・正しく記録を取るために検討中。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1			・職員間で無理なくモニタリングを行う日程を確保する。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		1		・ガイドラインを再確認し、職員間で共有していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6	2		・送迎時やラインを活用し、連 絡調整を行っている。また学 校からのお手紙等で確認を 行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	5	3			・現在は医療的ケアが必要な子の受 け入れがないが、受け入れる場合は 必要な体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	3	1	・就学前に担当者会議に出席 するなど、情報共有を行って いる。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2	3	2	※記入無し1	・これまで該当者がいない為情報提 供を行った実績はないが、必要があ れば情報提供はできる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	2	1	・センターの方に来ていただき 社内研修を行っている。	・今後も必要に応じて研修を行ってい く。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2		6	・コロナの影響で機会が持て ていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	2	3	コロナの影響で機会が持てて いない。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7	1		・送迎の際に保護者と話しをし ている。	・日頃から保護者と話をしているが、 より細かく話ができる機会を確保す る。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	4	2	2	・ペアレントトレーニングという 具体的なプログラムは行って いないが、お迎えの際に相談 に乗っている。	・職員がペアレントトレーニングトレー ナーの資格を取るための研修を受け る等検討中。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	7	1		・お迎え等で相談を受け、助言 を行っている。	・よりきめ細かな助言ができるよう職 員の研修などを行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	2	4	・コロナの影響もあり、現在は 開催していない。	・今後開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7	1		・苦情窓口を設置している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8				
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	6	2		・コロナの影響もあり、現在は 開催していない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	2	・マニュアルは作成している。	・保護者への周知までには至っていないため、今後周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	2	・身体拘束に関する説明のうえで「行わない」との説明にとどまっておらず、拘束を行う状況の前に対応している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		1	・ヒヤリハットを作成している。	・事例集の作成には至っていないので、事例集を作成し職員で共有していく。